

## 真鶴町立真鶴中学校

研究テーマ：「望ましい人間関係の構築と学びに向かう力の育成 -UDを基盤とした授業づくり-」

### 1、実践の目的

今年度の研究主題は昨年度に引き続き、「望ましい人間関係の構築と学びに向かう力の育成」とした。学校小規模化が進む中、集団の中で豊かな人間関係をいかに築いていくかは、本校の重要な課題であり、引き続き研究を続けていく必要があるからである。

未来を予測することが困難な時代に生きる生徒たちには、蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自らその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められる。このことを踏まえ、「生きる力」をより具体化した「生きて働く『知識・技能』」「未知の状況にも対応できる『思考・判断・表現力等』」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』」の資質・能力を、教育課程全般を通して育てていくことをめざして研究を行った。

### 2、実践の内容

#### (1) 授業づくりについて

本校では「授業のユニバーサルデザイン」を基盤とした授業改善に取り組んだ。授業のユニバーサルデザインとは、学級の全員が楽しく学び合い『わかる・できる』授業をめざす考え方である。ここには、特別な支援が必要な生徒に目を向けることが、結果的にクラス全体の生徒にとってわかりやすくなる指導の工夫へとつながり、クラス全体での学びが豊かになるという発想が根底にある。全職員が、「授業のユニバーサルデザイン」について理解を深め、「わかる・でき

る・もっとやりたい」と実感できる授業をめざすとともに、「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び」の視点からの不断の授業改善を心掛けることによって、自ら学び、考え、行動できる、生徒の「学びに向かう力」の育成を図った。

昨年度の課題として、単元（題材）や本時のゴールを生徒に明確にし、それらを達成するための授業のUD化、目的ではなく手段としての実践的UDの必要性が挙げられた。今年度はこの部分を特に意識した授業づくりを行った。

#### (2) 研究の進め方

- ・全職員が授業づくり部会に所属し、生徒みんなが「わかる・できる」授業に視点を置き、授業のユニバーサルデザインを基盤とした授業改善に取り組む。
- ・ユニバーサルデザインの視点から、効果的なICTの活用を考え、授業で取り入れていく。
- ・1人1回以上は、「教科」または「特別の教科 道徳」で授業提案を行う。全体を4つのグループに分け、お互いの授業を参観し、研究協議をして授業改善に役立てる。
- ・年度初めに教科で「生徒の実態」「生徒につけたい力」「具体的な指導方法」を考え実践し、年度終わりには「実践」「成果と課題」をまとめる。

#### (3) 小中連携研修会

1月26日(木)には、小学校6年生を中学校に招いて、授業体験等を行うウインタースクールを開催している。今年度は、その様子を横浜国立大学の白井達夫先生にご参観いただき、ウインタースクール終了後に「小中連携のポイント」という題でご講演

をしたいただいた。具体的な連携校の話をしていただきながら、連携を進めるために大切な事についてお話をいただいた。

### 3、実践の成果

今年度は4つのグループに分け、生徒みんなが「わかる・できる」授業に視点を置き、授業のユニバーサルデザインを基盤とした授業改善に取り組み、それぞれの授業を見合うことにした。授業提案の日時と内容は次の表のとおりで、1人1回以上は授業提案をし、研究協議をして授業改善に役立てるという目標を達成することができた。どの授業でもICTの活用が進んでいる。これまでのように動画や静止画を画面で見せて、視覚化する活用方法だけでなく、SchoolTaktを使って互いの活動や意見をその場で共有したり、ノートの代わりにiPadを使用し、活動を行ったりするなど、ユニバーサルデザインの視点から生徒の「わかる・できる」ために効果的な活用方法を工夫する授業が多くみられた。11月21日の授業は幼小中合同研究会の一環として、幼稚園と小学校の先生方にも授業を参観してもらい、合同で研究協議を行った。小学校での学習とのつながりなどに気づかされる意見もたくさん出され、有意義な協議となった。

授業提案の日時・内容等

| 月日                       | 教科    | 本時のめあて                            | 学年 |
|--------------------------|-------|-----------------------------------|----|
| 9月1日(木)                  | 国語    | 類義語の使い方を考え、その場に合った表現ができるようにしよう    | 2  |
| 9月6日(火)                  | 社会    | 中国文明の発展と特徴について理解する                | 1  |
| 9月13日(火)                 | 理科    | エンドウの種子の不思議を解明できる独自のルールを考えよう      | 3  |
| 10月7日(金)                 | 技術・家庭 | 水耕栽培(養液栽培)の準備を完了する                | 3  |
|                          | 社会    | 豊かな暮らしを持続していくために、最も必要な発電方法は何だろう   | 2  |
| 11月21日(月)<br>幼小中合同研究会全体会 | 音楽    | “さくらさくら”の奏法を理解し、正しい姿勢で弾けるようにする    | 3  |
|                          | 保健体育  | グループで、どうやったらなわとびができるのか考え、実践できる    | 2  |
|                          | 数学    | 方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する        | 1  |
|                          |       | 角柱や円柱の展開図とその特徴を理解する               |    |
|                          | 英語    | 仮定法を使って、自分が使いたいドラえものの道具を伝えることができる | 3  |
| 11月24日(木)                | 国語    | 漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる     | 1  |

### 4、今後の展開

これまでも真鶴町では幼稚園、小学校、中学校が連携し、一体となって12年の学びの充実を図ってきた。今年度、合同研究会で授業を公開し、協議を行ったり、白井先生の講義を聞いたりしたことで、連携の大切さや、それぞれの学びの課程を知ったうえで、学習を進めていくことの大切さを改めて感じることができた。今後は、このつながりを大切にし、それぞれの学習過程を踏まえ、授業改善を進め、生徒がより「わかる・できる」と実感できる授業づくりをめざしていきたい。

合同研究会での研究協議のまとめ

